

【より完璧な翻訳を目指して】

アーケテックコム株式会社で、マニュアル作成と翻訳を行っています。
豊原 信です。



ウェブサイト：

<https://arc-tec-com.com>

Tel : 050-6864-6201

Fax : 050-6864-6202

E-mail : m.toyohara@arctecom.jp

翻訳前に「用語集」の作成

こんにちは。

今月は、翻訳と用語集、用途に応じた文章スタイルのお話です。それと恒例の「勝手応援メッセージ」を紹介します。

用語集がない

最近では、翻訳をお願いすると必ず、「用語集はありますか」と聞かれます。「ありません」と答えると、「用語集がなくても、『翻訳支援ソフト』を活用して、重複表現の用語や文章の翻訳を統一して、訳文の統一品質を確保できます」と返事が返ってきます。統一品質で作成できるのなら、これほどよいことはない、「では、お願いします」となります。ここに実は、問題が隠されています。

誤訳の問題

問題は、翻訳した「用語」や「文章」が、対象となる業界で使用している用語の内容に、適合しているかどうかの判定ができていないということです。クライアント様に納品して初めて分かります。

これでは二度手間になり、作業の効率を下げてしまいます。

例えば、「失火」という言葉があります。辞書では、「火事を出すこと、火災：Fire」の意味です。ところが、内燃機関や燃焼機器の業界では「燃えている火が消えること：Miss Fire」となり、違った意味になります。

用語集の効果

用語集の効果は大きく、翻訳の品質が格段に上がります。用語が統一され、読み手の理解がよくなります。そうすると、読み手は内容に従って、次の行動に素早く着手できます。これだけでも、相当に喜んでいただけます。読み手であるお客様が喜ぶ。それを見たクライアント様が喜ぶ。この喜びは、我々翻訳に携わる者にとって最高の幸せです。

用語集の作り方

用語集の作成方法は、種々あります。今回は、いちばん簡単と思える方法をお話します。まず、原稿から「名詞」と「動詞」

を抽出します。対象となる業界の関連資料とクライアント様が作成した過去の資料から、対応する「訳語」を抽出します。次に、クライアント様に、抽出した「訳語」を校正していただきます。

これで作成完了ではありません。この用語集を使用して翻訳を行います。そうすると必ず、翻訳者は疑問を感じて質問をします。私共で、質問内容を吟味して、「用語集」にフィードバックしていきます。これでやっと完成です。

用途に応じた文章スタイル

資料の目的に応じた文章のスタイルもまた大切です。読み手のお客様が、違和感なく読めることが必要です。使用される現場の状況やお客様の専門知識を踏まえたスタイルにします。

用語集作成のタイミングに合わせて、事前に文章スタイルもクライアントさんと協議して決めておきます。

大きな効果

今回、翻訳と用語集、用途に応じ

た文章スタイルの効果は、翻訳と訳文の編集校正に表われています。翻訳文章がかっちりした文章になったことと、編集校正の作業効率をアップできたことです。クライアント様の要求するパーフェクトな翻訳に近づくことができましたと思っています。参考にしていただければ、ありがたいです。

今月の応援メッセージです。

より生き活きと活躍するためには、自己破壊と計画的再生が必要です。

「自己破壊」わかっている、恐くてできない。

「自己破壊」何らかの痛みが伴う、そんなことはしたくない。でも、大きな状況の変化に巻き込まれたら、すべてをなくすことも大いにある。

このままでは駄目になると、感じている人も多いはずだ。

「自己破壊」せずに、多少の変化をさせるだけで、乗り越えられるような、状況変化ではないことも知っている。

だったら「自己破壊」するのです。痛みを覚悟し、勇気を持って行うのです。

自分の意思で、自分のタイミングで、自分のやり方で、自分のコントロール下で行うのが「自己破壊」です。

自分がコントロールできない破

壊は、「崩壊」です。

「崩壊」は、すべてを失うことになります。

「崩壊」は、再生が困難です。だから「自己破壊」するのです。

ただし、「計画的再生」という準備をして、「自己破壊」を行って下さいね。

要は、今の世の中の「必要」にできるように、自ら変化し続けていくということです。

世の中の「必要」が変化したのに、自らが変化しなければ、「必要」に答えられなくなり、退場するしかありません。

変化する世の中の「必要」を常に感じ取り、世の中の変化する時間軸に合わせ、遅れることも、先取りをし過ぎることもなく、タイミングに合わせて、応えていける自分を作り出し続けることが重要なことです。

そのための「自己破壊」です。

そのための「計画的再生」です。

そのお手本を、あなたが行うのです。誰もが恐がっていることを、あなたがやってみせるのです。

それが、あなたのお役目です。

あなたの存在が、みんなのためになっているのです。

あなたは、素晴らしい。

素晴らしいあなたにとって、今日が、素晴らしい日であることを祈念しています。

がんばれ！！

変化する世の中の「必要」を感じ取るのにどうしますか。

目新しいものに、プラスαの内容を付けて、周囲の人に聞いて回る。欲しいという人が多ければ、世の中の「必要」にマッチしています。では、このプラスαは何か、それは、人の「心」が欲しがっている内容が含まれているものです。これが「心」を捕える考え方です。

京セラ創業者の稲盛和夫氏が教えられている次の公式に当てはまります。

【人生の成果／仕事の成果】＝
【考え方】×【熱意】×【能力】
【考え方】は－100点～＋100点
【熱意】は0点～＋100点
【能力】は0点～＋100点

豊原 信